

# 時評 とくしま



山崎 勝之

鳴門教育大  
大学院教授

## 教育は時代に先行せよ

「インターネットに夢中になっていると感じますか？」。キンバリー・ヤング博士作成によるインターネット依存テストの1項目である。「はい」と答える人はさぞ多いことだろう。

今やインターネットは、世界中の人々がこの情報網につながるほど普及した。日本の小学生でも45%ほどが利用している。ネット利用は、情報の送受・探索と通信に革新をもたらし、多様な新規な娯楽を提供するなど、その恩恵は計り知れない。この恩恵は地方の時代を力強く推進する可能性を秘めている。情報発信のコンテンツさえ磨けば、都心からの距離的分離は今後地方の弱みに

### ネット社会の光と影

はならない。

この期待をもって、本県の子どものネット利用状況を見てみよう。

各種の調査ではネットの利用率や携帯電話、スマートフォン所有率は全国平均並みというところ

か。文部科学省の調査結果（2013年度）では、教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数の少なさ、普通教室の校内LAN整備率はトッ

ブクラスだという。しかし、この状況は手放しては喜べない。ネットの普及は、同時に多くの弊害を生み出す。近年、子どものネット利用で特筆すべき問題は、ま

ず「ネット依存」であろう。日本の中高生では、推計52万人がネット依

存している。死亡とまでい

か。文部科学省の調査結果（2013年度）では、教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数の少なさ、普通教室の校内LAN整備率はトッ

ブクラスだという。しかし、この状況は手放しては喜べない。ネットの普及は、同時に多くの弊害を生み出す。近年、子どものネット利用で特筆すべき問題は、ま

ず「ネット依存」であろう。日本の中高生では、推計52万人がネット依

存している。死亡とまでい

か。文部科学省の調査結果（2013年度）では、教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数の少なさ、普通教室の校内LAN整備率はトッ

ブクラスだという。しかし、この状況は手放しては喜べない。ネットの普及は、同時に多くの弊害を生み出す。近年、子どものネット利用で特筆すべき問題は、ま

ず「ネット依存」であろう。日本の中高生では、推計52万人がネット依

存している。死亡とまでい

か。文部科学省の調査結果（2013年度）では、教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数の少なさ、普通教室の校内LAN整備率はトッ

ブクラスだという。しかし、この状況は手放しては喜べない。ネットの普及は、同時に多くの弊害を生み出す。近年、子どものネット利用で特筆すべき問題は、ま

ず「ネット依存」であろう。日本の中高生では、推計52万人がネット依

存している。死亡とまでい

か。文部科学省の調査結果（2013年度）では、教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数の少なさ、普通教室の校内LAN整備率はトッ

ブクラスだという。しかし、この状況は手放しては喜べない。ネットの普及は、同時に多くの弊害を生み出す。近年、子どものネット利用で特筆すべき問題は、ま

ず「ネット依存」であろう。日本の中高生では、推計52万人がネット依

存している。死亡とまでい

か。文部科学省の調査結果（2013年度）では、教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数の少なさ、普通教室の校内LAN整備率はトッ

ブクラスだという。しかし、この状況は手放しては喜べない。ネットの普及は、同時に多くの弊害を生み出す。近年、子どものネット利用で特筆すべき問題は、ま

ず「ネット依存」であろう。日本の中高生では、推計52万人がネット依

存している。死亡とまでい

か。文部科学省の調査結果（2013年度）では、教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数の少なさ、普通教室の校内LAN整備率はトッ

育には似合わない。

「時代の趨勢だ」と諦観する姿勢は、学校教育には似合わない。

この新文化の進行を遅

らせても子どもを守りた

い。「時代の趨勢だ」と

諦観する姿勢は、学校教

育には似合わない。